

新年を迎え、皆様には変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

県議3期目は県議会最大会派の自由民主党に所属しましたことから、6月定例会から4常任委員会のうち、厚生環境委員会（定員13名）の委員長を拝命し、毎定例会（6月、9月、12月）で、経験不足を痛感しながら、真剣な議論の仲介役として運営にあたっています。（※厚生環境委員会は、県民生活環境部、防災局、福祉保健部、病院局で主に県政課題であります人口減対策や原発・自然災害対策、医師看護師や介護士不足対策、県立病院の地域医療対策などを審議します。）

これまでの委員会審議を振り返ってみますと、印象に残った課題の一つ目は、県立加茂病院改築に関する対応です。これまで加茂市と新潟県との調整が難航していて、計画通りの開業が困難な状況になっています。当委員会では、加茂市民や周辺住民の生命の安全確保のため、県民の信頼を損ねることがないように、県各部局と連携して期限を設定し、加茂市に対し法に基づく是正を求めたこと。

二つ目は、本県の最大課題の一つであります人口減対策です。本県の人口は、1995年248万8千人をピークに毎年減少が続き、近年は社会減と自然減を含め毎年約1万7千人前後が減少していることから、若者定住に関する多様な対策を積極的に進めるよう求めたこと。

三つ目は、度重なる自然災害（地震、豪雨、豪雪など）対策です。県内には柏崎刈羽原発が休止中ですが、自然災害時での原発事故時の避難計画の実効性、高齢者の多い豪雪地帯での屋根雪処理など除雪支援体制の整備を求めることなどです。その他、数多くの審議がりましたが、ここでは省略させていただきます。

12月定例会での審議結果を報告いたします。泉田知事に対し、代表質問2名、一般質問12名、連合委員会5名から本県の諸課題について質疑がなされました。

主なものは、地方における景気回復の遅れへの対策（中小企業支援や雇用創出など）、長期間続いている人口減対策（モデル事業や子供の貧困、特殊出生率の目標設定など）について、また国政に関する質疑では、新たなアベノミクス3本の矢（1億総活躍社会の実現、GDP600兆円目標、介護離職ゼロ）に対する所見、昨年10月に大筋合意されたTPP問題に対する所見などを求めました。

これに対し知事は、GDP600兆円に対しては、インフレターゲットなどの大胆な金融緩和の継続や機動的な財政出動により、デフレ脱却を確かにすること。と持論を展開しました。TPPに関しては、コメに関しては如何なる譲歩もすべきではないとの考えから、現時点では国内の影響は分からない。と述べるに留めました。

上程されました平成27年度補正予算では、県奨学金貸付金（ひとり親家庭U・Iターン枠）、2機目のドクターヘリ導入に向けた格納庫の実施設設計費、景気対策として公共工事50億円分の債務負担行為（ゼロ県債）、県立武道館（仮称）設計調査費消費税増税分の債務負担行為等、総額13,281千円を含む27議案について審議され、全議案可決または承認されました。

結びに、寒暖の差が激しく体調を崩しやすい今冬ですが、皆様には、くれぐれも健康にご留意されますようご祈念申し上げまして、議会報告とさせていただきます。なお、詳細は議会HPを参照ください。

審議の結果

県議会12月定例会より

会期：12月1日～12月17日（17日間）

<提案された議案・審議結果>

- 下記の全議案可決または承認されました。
  - ・平成27年度一般会計補正予算、各特別会計、企業会計補正予算など5議案
  - ・条例制定、条例の一部改正など11議案
  - ・事件議決、収用委員選任など11議案

<請願・陳情>

(採択された請願)

- ・新潟県の各関係機関における行政書士制度への理解及び行政書士法等の遵守徹底に関する請願

(継続審査となった陳情)

- ・人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める意見書提出等に関する陳情
- ・新潟水俣病全被害者救済と問題解決を求める意見書提出に関する陳情
- ・外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書提出に関する陳情

(不採択となった請願)

- ・子どもたちにゆきとどいた教育を！30人以下学級の実現、教職員定数の増加及び教育予算の増額を求める意見書提出等に関する請願
- ・教育費負担の公私間格差をなくし、私学助成の充実を求める意見書提出等に関する請願
- ・すべての子どもたちに、ゆきとどいた教育をすすめることを求める意見書提出等に関する請願

(不採択となった陳情)

- ・沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設の断念を求める意見書提出に関する陳情
- ・TPP交渉についての意見書提出に関する陳情
- ・米価暴落の抜本対策を求める意見書提出に関する陳情
- ・阿賀野市の台風15号による農業被害への支援を求める意見書提出等に関する陳情
- ・原発再稼働の中止等を求める意見書提出に関する陳情
- ・緊急時作業被ばく限度引き上げ中止と原発再稼働中止を求める意見書提出に関する陳情
- ・東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所6・7号機のケーブル不適切敷設原因の徹底説明を求めることに関する陳情

<議員発議による意見書>

(採択された意見書)

- ・拉致事件の早期解決を求める意見書
- ・教職員定数の確保を求める意見書
- ・医療事故調査等支援団体への支援を求める意見書
- ・国民が安心できる医療制度の構築を求める意見書
- ・重度障害者及び重度障害児の公費負担医療制度の創設を求める意見書
- ・子どもの貧困対策の抜本強化に向けた意見書
- ・万全なテロ対策を求める意見書
- ・交通弱者の事故防止に関する意見書
- ・地域住民の安全と安心の確保に寄与する公共事業予算の確保及び地方経済の活性化に資する機動的な対応を求める意見書
- ・「手話言語法」の早期制定を求める意見書
- ・農家の不安を払拭する真の農業政策の確立を求める意見書

(不採択となった意見書)

- ・年金積立金の安全な運用を求める意見書
- ・沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書
- ・ヘイトスピーチ対策に係る法整備を求める意見書

## 厚生環境委員会における付託案件等の審査経過並びに結果について、報告しました。

まず、県民生活・環境部関係として、特定野生鳥獣の管理に当たっては、個体数の増加や生息範囲の急激な拡大が懸念されるので、より正確な実態の把握に向け専門家の意見を十分に踏まえたさまざまな手法による詳細な調査に努めるべきとの意見。

次に、防災局関係として、豪雪災害については、実態に応じた的確な救助が求められるので、県が定める救助の着手に係る基準の弾力的な運用に加え観測地点や対象区域の設定など引き続ききめ細かく対応可能な体制の維持に努めるべきとの意見。

次に、病院局関係として、県立加茂病院の改築問題に関する加茂市において適正に手続きが処理されないことへの県の対応については、県民に不信感を与え県行政に対する信頼を損なうことが懸念されるので、関係部局と連携し期限を設定のうえ加茂市に対して法に基づく是正を求めるべきとの意見。

以上が、審査の過程で述べられた主な意見の概要であります。

次に、議案採決に先立ち、各党の党議結果並びに無所属委員の検討結果の報告を求めたところ、自由民主党、民主にいがた、公明党、無所属佐藤久雄委員、無所属重川隆広委員からは、全議案いずれも原案賛成。

日本共産党からは、第159号議案については、介護支援専門員の実務研修事務手数料並びに更新研修事務手数料を増額するものであり、介護職員確保の観点に逆行するとの立場のため、反対。その他の議案については、いずれも原案賛成というものであります。

次いで採決を行い、全議案とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、陳情の審査結果について申し上げます。

継続中の陳情平成27年第9号及び第15号については、継続審査。陳情第29号については、地球温暖化防止と安定したベースロード電源確保の観点から、福島原発事故を教訓とする世界一厳しいといわれる新基準に適合し、万全な安全と安心の確保がなされた原発の再稼働は必要なため、陳情第30号については、規則は、すでに改定済みであり「法令改定作業の中止を求める」との陳情事項は事実誤認のため、陳情第31号については、事実関係や原因等の細部についての説明について求められているが、県議会にはなじまないため、それぞれ不採択とすべきものと決した次第であります。

また、本委員会として、「医療事故調査等支援団体への支援を求める意見書」、「国民が安心できる医療制度の構築を求める意見書」、「重度障害者及び重度障害児の公費負担医療制度の創設を求める意見書」及び「子どもの貧困対策の抜本強化に向けた意見書」を決議することと決しました。以上、報告します。

### 横尾幸秀 汗かき 活動記

最近の活動からその一部を報告します。詳細は横尾ゆきひでホームページを是非ご覧ください

#### ◆ 2015/9/8～9

「厚生環境委員会県内行政視察」に行ってきました。



9月8日(火)～9日(水)の1泊2日で3か所の視察に行ってきました。最初に新潟県新潟市西区にある「グランセナ保育園」で、今年度から始まったきめ細かな保育状況(小規模保育・A型)を、経営主体であります(株式会社グランセナフットボールクラブ・長瀬重典社長より説明を受けました。この施設は、2007年4月にスタートし9年目に入るそうです。(グランセナとは、造語で広大な舞台・聖地を意味するそうです)

この制度は、平成27年度から本格施行された「子ども・子育て支援新制度」で、待機児童対策として創設されたもので、小規模保育には、A(ミニ保育所型)B(中間型)C(家庭型)の3種類があり、ここではA型で児童定員最大で19名が対象。市町村が実施する認可事業として児童福祉法に位置づけられ、国(1/2)、都道府県(1/4)、市町村(1/4)が、それぞれ費用負担をするものです。

この園ではフルタイムの保育士が5名、パートの保育士が7名で0歳児から3歳児まで19名の面倒を見ているそうです。感心したことは、退園するまで園児と保育士がそのままのことだそうです。園児にはストレスを与えない仕組みが大切とのこと。給食も自前で行い、アレルギー対策に気を使って調理しているそうです。



2番目は、南魚沼市浦佐に本年6月1日に開設したばかりの「魚沼基幹病院・新大魚沼地域医療教育センター」を視察しました。

内山聖病院長から現状について説明を受け、施設見学を行いました。

この基幹病院には、診療科目31科、病床数454床(開業間もないため、現在は354床だが、3年間でフル稼働の計画)医師は74名(センター教員40名、勤務医34名)看護職員が298名で、医師不足より看護師不足が問題。開業時は、スタッフの大半が、初お目見えで3か月経過したが大変だったとのこと。これまでは救急患者の大半が長岡市まで搬送されていたが、長時間搬送することで、3か月間で7名ほど亡くなっていたかと思っているとのこと。

現在このセンターには、1日平均25名の救急患者が搬送されていて、地元の人たちも大変協力的であり新大医学部の協力もあり順調な船出ができ、新体制に対する全国的な評価も高まりつつあります。屋上にはヘリポートがあり、八海山等4方を眺望できる自然に恵まれた環境が印象的でした。



2日目は、「東京電力株式会社・柏崎・刈羽原子力発電所」を視察。

最初に、木村公一東京電力新潟本社代表から、福島第一原発事故で大勢の方々に多大な迷惑をかけたお詫びと再発防止への取り組みについて説明を受け、栗田隆史・柏崎刈羽原子力発電所副所長より「現状における地震などに備えた施設の改良、津波(15m)対策の工事や施設について説明を受けた後、バスに乗って発電所内閣施設(移動式電源車、放水車、貯水池、消防車、津波防波堤、フィルターベント施設)の設置場所を視察し、現在、新規基準適合審査対象の6号機施設内の状況を視察しました。

事故後、特に強化していることはセキリュテー対策では、我々も飛行機に搭乗する際のゲート以上に、厳しい対応に驚きました。管内の視察などで時間が経過しましたが、各委員はしっかりと各施設を見聞きしていました。私は、委員長として最初の経験でしたが無事終了してホッとしています。特に、議会事務局の関係者には大変お世話になりました。

事後、特に強化していることはセキリュテー対策では、我々も飛行機に搭乗する際のゲート以上に、厳しい対応に驚きました。管内の視察などで時間が経過しましたが、各委員はしっかりと各施設を見聞きしていました。私は、委員長として最初の経験でしたが無事終了してホッとしています。特に、議会事務局の関係者には大変お世話になりました。

#### ◆ 2015/11/12～13

「新農業戦略対策特別委員会県内行政視察」を行いました!



11月12日(木)～13日(金)の日程で4ヶ所の視察を行いました。

ここでは、新潟県新潟市西区五十嵐にある、新川河口排水機場の視察についてのみご紹介いたします。

視察は、当該施設の施設老朽化対策の現状と役割について行いました。

この地(越後平野・西蒲原土地改良区内)は、平安時代はほとんどが海であり、3年に1作しか米が採れず「鳥またぎ(鳥も食わない)米」と言われる不毛の地であり、海拔0m地帯。雨が降ると一面浸水するため、乾田が地域農民の悲願であったとの事です。

1818年幕府から、ようやく待望の許可が下り翌年から歴史的大事業が始まった。述べ100万人の農民が動員(10年間で経費6万両が庄屋の負担)されたとの事。新川の開削工事は繰り返し行われ、この間で排水技術は格段の進歩を遂げたようです。昭和45年に国営新川第二農業水利事業により建設され、新潟県が管理委託(西蒲原土地改良区職員も)を受け現在に至っている。

この事業は二世紀にも及ぶ大地の改良であり、排水能力は、西蒲原全域(28,289ha)、排水量は240m<sup>3</sup>/秒と日本最大級(現在は世界第2位)、25mプールの水を1.5秒で空にする能力のあるポンプが6台、羽の直径が4.2m。建設後32年経過したことから、施設の老朽化対策として平成18年から順次更新が行われ本年完了。越後平野に大型の農業用機械が走り回っている様を見るにつけ、本県農業の根幹を成す地帯を作り上げた、排水機場の有り難さを実感したところです。一度は拝見したかった施設でしたが、今回は普段見られない内部まで見ることが出来たので、感無量でした。

他にも多くの活動を、横尾幸秀ホームページの「ブログ」でご紹介しています。是非ご覧ください。  
<http://yokoo-yukihide.jp/>